

安全データシート (SDS)

According to JIS Z 7253:2019

作成日 : 2024 年 09 月 30 日

1 製品名及び会社情報

製品名 : エレスタバッファ 精製・回収用

製造者 : 株式会社 AFI テクノロジー 大阪事業所
大阪府大阪市北区西天満 6-7-2
Tel : 06-6360-9010

供給者 : 株式会社 AFI テクノロジー 大阪事業所
大阪府大阪市北区西天満 6-7-2
Tel : 06-6360-9010

緊急連絡先 : 株式会社 AFI テクノロジー エレスタ事業部
Tel : 06-6360-9010

使用上の制限 : ELESTA および PixeeMo 検査用

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物質又は混合物の分類

GHS 分類基準に該当しない。

絵表示

注意喚起語 なし

危険有害性情報

GHS 分類基準に該当しない。

注意書きー(安全対策) 非該当

注意書きー(応急措置) 非該当

注意書きー(保管) 非該当

注意書きー(廃棄) 非該当

その他

ほかの危険有害性 情報なし

3 組成及び成分情報

単一／混合物： 混合物

不純物または安定化添加剤 非該当

4 応急措置

吸引した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合は、医師に連絡すること。

目に入った場合

数分間気をつけて洗浄すること。もしコンタクトを装着していて、容易に取外せるなら取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。医師の指示がない場合はムリに吐かせないこと。

応急処置をする者の保護

個人用保護具を着用すること。

5 火災時の措置

適切な消火剤

水噴射，二酸化炭素，泡，粉末消火剤，砂

使ってはならない消火剤

該当情報なし

特有の消火方法

該当情報なし

消火を行うものの保護

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以上の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 回収,中和などの浄化の方法及び機材

乾燥砂 , 土 , おがくず , ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項

- ・取扱者のばく露防止策

個人用保護具を着用すること。

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしないこと。

漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させないこと。

使用後は容器を密閉すること。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならないこと。

休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいけないこと。

取扱い場所へ関係者以外の立ち入りを禁止すること。

保管上の注意事項

- ・混合接触させてはならない化学物質

特になし

- ・保管条件

冷蔵保管する。

8 ばく露防止及び保護措置

ばく露防止

- ・ばく露限界
職業暴露限界値のある有害危険物を含有していない。
- ・可能な限りばく露を軽減するための設備対策
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護措置

- ・適切な保護具
呼吸器の保護具： 保護マスク
手の保護具： 保護手袋
目の保護具： 保護メガネ
皮膚及び身体の保護具： 長袖作業衣

9 物理的及び化学的性質

化学品の外観

色	無色
濁度	透明
性状	液体
臭い	データなし
融点、凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、ガス)	データなし
燃焼又は爆発範囲の上限、下限	
上限：	データなし
下限：	データなし
引火点	データなし
自然発火温度	データなし
溶解度	水：混和する。
蒸気圧、蒸気密度	データなし
相対密度	データなし

10 安定性及び反応性

安定性

反応性

データなし

化学的安定性

推奨保管条件下で安定

危険有害な分解生産物

通常の処理ではなし

避けるべき条件

高温と直射日光

混触危険物質

強酸化剤

11 有害性情報

皮膚腐食性／刺激性

区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

データなし

急性毒性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性 単回ばく露

データなし

特定標的臓器毒性 反復ばく露

データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

12 環境影響情報

生態毒性

利用可能な情報なし

残留性・分解性

利用可能な情報なし

生体蓄積性

利用可能な情報なし

土壌中の移動性

利用可能な情報なし

オゾン層への有害性

利用可能な情報なし

13 廃棄上の注意

安全で環境上望ましい廃棄方法

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

容器・包装の適切な処理方法

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14 輸送上の注意

ADR/RID(陸上) 規制されていない。

国連番号

副次危険性

容器等級

海洋汚染物質 非該当

IMDG(海上) 規制されていない

国連番号

副次危険性

容器等級

海洋汚染物質 非該当

IATA(航空) 規制されていない。

国連番号

副次危険性

容器等級

環境有害物質 非該当

15 適用法令

国内法規

消防法 非該当

毒物及び劇物取締法 非該当

労働安全衛生法 非該当

化学物質管理促進法 非該当

船舶安全法 非該当

航空法 非該当

港則法 非該当

16 その他の情報

記載のデータや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合には新たな用途・用法に適した安全対策を実施したうえ、お取扱いをお願い致します。